

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール青葉台教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・法令順守している。	・今後も継続していきたい。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・法令順守している。	・今後も継続していきたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・現状、バリアフリー配慮が必要な児童がいない。必要時洗面台やトイレなどに踏み台を置いて対応している。 ・洗面所やトイレなどが狭い、また指導室との段差があるため、利用するときにはその都度気を付けるように声を掛けている。	・今後も児童に合わせて対応していきたい。また、配慮が必要な場所がないか、引き続き検討をしていきたい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・共有事項を申し送り時や日誌などで都度共有している。	・今後も継続していきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・毎年実施し、業務改善につなげている。	・今後も継続していきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・毎年実施している。	・今後も継続していきたい。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・現在保護者、事業所の二者評価のみの実施。	・今後も継続していきたい。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・研修内容を把握し、それぞれの職員に合った研修に参加出来る機会を確保している。	・今後も継続していきたい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・契約の際や個別支援計画面談時にアセスメントを取り、現在のニーズや課題を把握し、計画を作成している。	・今後も継続していきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・事業所内で統一したものを利用している。	・今後も継続していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・行事に沿ったプログラムを立案している。	・今後も継続していきたい。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			・学習、読書、遊びといった大きな枠組みは決まっているが、行う内容に関しては日々の児童の状況によって変化している。	・今後も継続していきたい。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・限られた利用時間内で出来る支援を検討、実践している。	・利用時間枠に関しては今後も変更はせず、可能な範囲で課題を設定していきたい。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別学習と集団療育を適宜組み合わせで対応している。	・今後も継続していきたい。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・児童が登校する前に、申し送りを行う時間を設けている。	・今後も継続していきたい。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・ 支援終了後に1日を振り返り、日誌に記載している。 ・ 職員同士の申し送りについては、時間の関係から次の日以降に行うことも多い。	・ 今後も継続していきたい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・ 日々の活動記録を作成し、日々の支援に生かしている。また職員間で記録を確認の上、保護者にも公開している。	・ 今後も継続していきたい。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・ 法令順守している。	・ 今後も継続していきたい。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		・ 法令順守している。	・ 今後も継続していきたい。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	・ 今年度は相談支援事業所を利用している児童がいない。	・ 今後必要な児童がいる場合には、児童の情報共有をしたうえで児童発達管理責任者が出席する。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		・ 学校と直接的なやり取りは行っていないが、保護者様を通じて情報共有をしている。	・ 今後も継続していきたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		・ 現在医療的ケアが必要な子供はいないが、てんかん発作が起きる可能性がある児童はいるため、緊急時の連絡先などを控えている。	・ 今後も継続していきたい。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・ 就学前に利用している施設との直接的なやり取りは行っていないが、保護者様を通じて情報共有をしている。	・ 今後も継続していきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		・ 高校卒業後に利用する施設との直接的なやり取りは行っていないが、保護者様を通じて情報共有をしている。	・ 今後も継続していきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・ オンライン研修などがあった際には、参加するようにしている。	・ 今後も継続していきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・ 現在はコロナ感染防止のため公園遊びなども行っておらず、教室内での活動に限定している。	・ 情勢に応じて慎重に検討していきたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		・ 区で開催している部会や連絡会などに参加している。	・ 今後も継続していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・ 日々の活動記録を保護者に公開している。 ・ 送迎時や面談時などにご家庭や学校での状況を聞いている。	・ 今後も継続していきたい。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		・ 面談や電話支援児などの場面で質問された際には、その都度回答するようにしている。	・ 今後も継続していきたい。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・ 契約時、変更時などに説明を行っており、教室にも運営規定を掲示している。	・ 今後も継続していきたい。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・ 面談や電話支援時などの場面で質問された際には、その都度回答するようにしている。	・ 今後も継続していきたい。

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現在実施していない。 ・保護者アンケートにて「保護者会不要」の票が集まっていたため、慎重に検討している。	・保護者会に関しては保護者様へのアンケートでも不要の回答が多く集まっていたため、慎重に検討していきたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・児童や保護者様からの要望に対して迅速かつ適切に対処できるようにしている。情勢や教室の体制上要望に応えることが難しい場合もあるが、その際には代案を提案している。	・今後も継続していきたい。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年に数回「オレンジびより」を発行している。また、ブログやマイビジネスにて活動内容をお知らせしている。	・今後も継続していきたい。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・年に1回研修を実施している。 ・書類に関しては鍵付き棚にて保管をしている。	・今後も継続していきたい。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・メールやラインなどで迅速に対応するようにしている。	・今後も継続していきたい。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・現在実施していない。	・外部に向けた行事のレクリエーションは行っておらず、教室内で四季を感じられる工作のみを行っている。このまま継続していきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・教室内に掲示している。	・今後も継続していきたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年に数回避難訓練を行っている。	・今後も継続していきたい。
	④⑩	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・年に1回研修を行っている。	・今後も継続していきたい。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・契約時に具体例を出しながら説明をしている。説明後は同意書に署名と捺印をもらっている。	・今後も継続していきたい。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・現在おやつや食事を提供していない。しかし、アレルギーがある児童に対しては、対処方法などを保護者様と確認している。	・今後も継続していきたい。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・日誌で日々のヒヤリハットを記録し、共有している。	・今後も継続していきたい。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和４年３月３１日 事業所名：オレンジスクール青葉台教室
保護者数（児童数）：（52） 回収数：34 割合：65%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	3	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	30	4	0	・最近先生の入れ替えが多い気がする。	・職員同士で情報の共有を行い、支援のばらつきがないように努めていく。また利用者が安心して活動できるよう、職員同士の連携をより一層密に行う。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	11	2		
適切な 支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	33	1	0		
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	29	5	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要 6	12	不必要 16	・今は感染対策の観点から機会を作る必要はない。	・今回も「不必要」を選択する家庭が多くあった。現在もコロナ感染が収束していないため、引き続き情勢を鑑みながら検討していきたい。
保護者 への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	33	1	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	1	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 4	10	不必要 20		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	9	1	・今までに苦情の場面がないため、「どちらでもない」を選択した。今までの中で不満はない。	・苦情の有無が不明なためどちらともいえないと選択するご家庭が多かった。今後苦情があった場合には迅速かつ適切に対応していきたい。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	2	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	31	3	0		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	33	1	0		
非常時 等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30	4	0		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	33	1	0		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	32	2	0	・6年目になりますが、楽しみに通っている。 ・勉強は嫌いみたいですが、自分のためになっていることは感じていると思う。	・学習に対しては苦手意識を持つお子様も多い為、少しでも自信につながるように、適宜教材の工夫を行っていきたい。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	33	1	0	・本人の気持ちを尊重して対応してくれ、安心して過ごすことが出来ている。	・今後も安心してご利用していただけるように、ご本人と信頼関係を築きながらご家庭と情報共有を行い、より良い支援となるように努めていきたい。

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

職員による自己評価

A 環境面

- ・職員配置は基準を満たしている。
- ・洗面台に踏み台を置くなど、バリアフリー面に関しては、その都度対応をしている。

B 業務改善

- ・教室内で日々の業務見直しを行い、改善に努めている。

C 適切な支援の提供

- ・面談などを通じてアセスメントを行い、その都度支援に反映している。
- ・基本的には児童の情報共有の時間を設け、課題やニーズを把握した上で支援が出来るようにしている。

D 関係機関との連携

- ・学校や関係機関との直接的な連絡のやり取りは行っていないが、保護者を通じて情報共有をしている。

E 保護者への説明責任・信頼関係

- ・ご家庭からの要望に関しては迅速に対応できるよう心掛けているが、コロナの感染予防の観点から全ての要望を受け入れることは難しい。しかし、その都度代案を提案している。

F 非常対応

- ・避難訓練を年に2回行っている。

保護者による評価

A 環境面

- ・「バリアフリー化の配慮がなされているか」という質問に対して、他の項目に比べると「どちらともいえない」がやや多く見受けられた。

B 児童への支援内容

- ・現在はコロナ感染対策の観点から障害のない子供と活動する機会を作る必要はないと思う。

C 事業所からの情報発信

- ・「支援の内容や利用者負担などの説明がなされているか」という質問に対しては、全ご家庭が「はい」という選択をしていた。
- ・今までに苦情をする場面はなく、不満はない。

D 非常対応

- ・非常対応の項目については、以前に比べると「はい」の項目を選択する家庭が多くなり、周知されていると感じた。

E 満足度

- ・6年目になるが楽しく通っている。
- ・勉強は嫌いだが、自分のためになっていると感じている。
- ・本人の気持ちを尊重して支援をしてくれている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・契約時には運営規定を提示し、支援の内容や利用者負担などの説明がなされている。
- ・送迎や面談時、「HUG」などを通じて、児童の情報を共有している。また、それらを通じて児童の課題やニーズを確認している。
- ・非常対応が周知されつつある。

【相違点】

- ・コロナ感染予防の観点から、ご家庭からの要望を受け入れることが難しい場面がある。その際には、代案を提案している。
- ・先生の入替わりが多い。
- ・洗面台が高い位置にある等バリアフリー化がなされていない場所があるため、踏み台を置くなどの配慮をしている。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・面談などを通じてアセスメントを行い、児童の課題やニーズを把握し、支援に反映している。
- ・発達障害に関する研修に参加出来る機会を確保している。
- ・複数の職員で児童の情報共有を行うことで、様々な視点で物事を考える環境をつくっている。
- ・契約時に運営規定を提示し、支援内容や利用者負担などの説明を行っている。
- ・前回の評価にて、集中して勉強できる環境が欲しいという意見があった。現在は状況によって面談室を利用するなどの工夫を行っている。

事業所の改善点

- ・勉強に対して苦手意識をもつ児童が増えてきており、自信の低下などが目立つようになってきた。
- ・コロナ感染予防の観点から、ご家庭からの要望を受け入れられないことがある。
- ・バリアフリーの配慮が必要な場面ではどのような対応をしているのか全ご家庭に説明が出来ていない。

事業所の改善への取り組み

- ・学習支援に関して、書くことに対して苦手意識がみられる場合にはプリントだけではなく、クイズや具体物を用いて説明をするなどの工夫を行うことで、勉強への苦手意識を軽減し、学校生活を楽しく送れるように支援をしていきたい。
- ・ご家庭から要望が聞かれた際には、迅速かつ丁寧に対応することを心がけていきたい。また、コロナ感染予防などの観点から、要望を受け入れられない時にはきちんと説明を行い、代案を提案していく。
- ・職員の入れ替わりがあった際には引継ぎを密に行う。また、不安を感じる利用者に対しては既存の職員が橋渡しをしていく。
- ・バリアフリー面の配慮に関しては、契約や面談時などを通じて説明を行っていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など。

今年度も高い評価をいただき、誠に感謝しております。

まだ情勢が安定しておりませんので、少しでも安心してご利用していただけるように、引き続きコロナ感染予防対策を行います。

また、HUGや面談などを通じてお子さまの情報共有をさせていただきます。

来年度もお子さまが楽しく通うことが出来るように、職員一同努めてまいります。

事業所名 オレンジスクール 青葉台教室

担当者 小川 沙織